

神戸大学ビジネススクール 修学ガイダンスー平成28年度



Graduate School of Business Administration
KOBE UNIVERSITY

神戸大学MBAのコンセプトと特色

研究に基礎をおく教育
Research-Based education

RBE

働きながら学ぶ
By the Job Learning

BJL

プロジェクト方式
Project Research Method

PRM

経営学の専門的理論の体系的な習得

経営学修士(専門職)の修了要件

『神戸大学大学院経営学研究科・経営学部学生便覧 2016年度入学者用(平成28年度)』が正式なルールブック。常にこの学生便覧で情報を確認すること。

必修科目(2+2+8単位)：

- ケースプロジェクト研究(1年4月～：三品教授)
- テーマプロジェクト研究(1年8月～：松尾(博)教授)
- 現代経営学演習(1年9月～2年前期→専門職学位論文作成)

選択必修科目(22単位以上)

- 上記3科目以外の第8群科目(科目名が「***応用研究」)
- 2単位までは、指導教員の許可があれば、第8群科目以外の研究科の授業科目を上記22単位の中に含めることができる。
- 2単位までは、指導教員及び授業担当教員の許可があれば、本学の他研究科の授業科目を上記22単位の中に含めることができる。
- 指導教員及び授業担当教員の許可があれば、京都大学経営管理大学院の授業科目を履修し、上記22単位に含めることができる。

カリキュラムの流れ

1.5年履修コース		
	必修（プロジェクト方式の科目）	選択必修（講義科目）
一年次前期	ケースプロジェクト研究 2単位	最低11科目22単位を履修
	発表会	
一年次後期	テーマプロジェクト研究 2単位	
	発表会	
二年次前期		
	現代経営学演習 論文作成 8単位	
	専門職学位論文提出	
	審査 修了式	

神戸方式の教育ープロジェクト方式

ケースプロジェクト研究（1年4月～）

担当：三品教授

テーマプロジェクト研究（1年8月～）

担当：松尾（博）教授

現代経営学演習（1年9月～）

担当：高嶋教授、國部教授、
原田教授、音川教授、
鈴木（竜）教授

グループダイナミクス

異業種の同期生との交流

異業種における経営者のインタビューー

論理的構成力、文章力、発表能力



金曜日夜間の講義について

- 開講時間：5時限目 18:20-19:50
6時限目 20:00-21:30
- 開講場所：梅田ゲートタワー
(大阪梅田・梅田ゲートタワー8階)

科目の履修登録

『神戸大学大学院経営学研究科講義要綱2016
平成28年度』を参照すること。

受付期間：

前期分は、4月7日(木)から4月20日(水)17時までの予定。WEB入力。

すべての書類等の提出期限は、第三学舎1階の掲示板によるものが正式。教務係から、メールで連絡するが、常に、掲示板を確認のこと。提出期限を厳守のこと。

1年次の流れ

- 4月1日 (金) 講義開講
- 4月2日 (土) ケースプロジェクト研究開始
- 6月上旬 クランフィールド大学学生来日
- 6月下旬 現代経営学演習希望提出
- 8月6日 (土) ケースプロジェクト研究発表会
- 8月20日 (土) テーマプロジェクト研究開始
- 9月3日 (土) 現代経営学演習開始
- 2月中旬 クランフィールド大学
共同プログラム

2年前期

- 現代経営学演習（原則として隔週土曜日）
現代経営学応用研究（1単位）などを開講予定
金曜日の授業は履修可能
 - 4月下旬：副指導教員指名
 - 6月：専門職学位論文論題提出
 - 7月上旬：卓越論文候補中間公開発表会
 - 8月24日：論文提出期限
 - 8月末～9月上旬：論文審査（主査1名、副査1名）
学位論文の審査基準
 - 9月下旬：修了公開発表会
- ①論文に対して誠実かつ真摯に取り組んでいること
 - ②仕事で抱いた問題意識に関連したテーマを設定していること
 - ③現実に対して意味のある結果と含意を導出していること
 - ④その結果と含意を導くプロセスが信頼に足り、説得力あること

1.5年 or 2年の履修コース選択

- 1.5年履修コースと2年履修コースを選択しなければならない。
(前年度は10月に関係書類を提出してもらいました。)
- 原則1.5年の履修コースを選択してください。
- どちらにしても、修士論文指導は2年の前期に行います。
- 1.5年履修コースで単位が足らなければ、2年後期に授業料を納めて、履修することになる。
- 2年履修コースで1.5年で修了単位を満たしても、2年後期の授業料を納入しなければならない。
- 1.5年、2年履修コースの在学可能期間はそれぞれ3年、4年。
- 留学をする人は、2年履修コースが適切。(授業料の相互乗り入れの利用)
- 博士課程後期の試験に合格した時、1.5年履修コースの人は、入学金を納めてまた「入学」する。2年履修コースの人は、入学金はいらないが、後期の授業料を納めて、「進学」する。
→博士後期課程の進学については便覧参照

学習環境と継続的教育機会

- 学習環境について

自習室（アカデミア館406号室）

事務室（教務係：不明な点はすべて教務係へ）

ネットワーク環境

図書館の開館時間（土曜、日曜とも開館）

経済経営研究所の図書館・資料室

生協・食堂の営業日と営業時間

- 卒業後も継続的な教育機会の提供

社会人PhDコースの設置→働きながら博士号取得

現代経営学研究所

→ワークショップ、シンポジウムの開催、機関誌(BI) 発行

神戸大学経済経営学会「国民経済雑誌」の発行

MBA卒業生組織：MBAカフェ

社会人学生生活を成功させるために

- 同期の仲間、ゼミの仲間と助け合って、大きな成果を上げる。
- 講義科目とプロジェクト方式の科目の連携に十分留意する。
- 入学とは、ともに学問を志す「師弟関係」に入ること。学生は顧客ではない。（顧客は対価以上のベネフィットを得られない。）
- 論文作成について焦りは禁物だが、時間を確保すれば書けるものでもないことを理解する。
- MBA教育の成果は持続的であると信じる。
- 家族や上司や同僚の理解をお願いする。